



神宮次 秀樹 議員
(政友みらい)



里山林の樹木整備及び保全について

Q 里山林は住居地近くに広がり地域住民に継続的に利用され、維持管理されてきた森林である。しかし、昭和30年代の石油・ガスなどの化石燃料の普及、また化学肥料の普及等により利用が激減し、荒廃が進んでいる。この現状をどのように捉えているのか伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

里山林で伐採されず放置された針葉樹については、里山の保全や災害防止等の観点から、適切な手入れが重要であると考えています。そのため、とちぎの元気な森づくり県民税や林野庁の森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用した明るく安全な里山林整備事業を実施し、それによって適切な里山林の整備、管理を進めていききたいと考えています。

その他の質問

☆不法投棄の現状と防止対策について



木村 久雄 議員
(公明党議員会)



※ヤングケアラー支援の強化について

Q 令和3年に国が実施した実態調査では、8割以上の生徒がヤングケアラーという言葉を知り、聞いたことがないと回答しており、本市の調査においても7割の生徒が聞いたことがないと回答している。認知度の向上についてどのように考えているか。

A 子ども福祉部長

令和4年1月に市立中学校2年生及び義務教育学校8年生を対象に実施したアンケート調査の結果、ヤングケアラーという言葉を知ることがないと回答したことから、周知啓発に取り組んでいるところです。子どもの年齢や成長に見合わない重い責任や役割などの負担が続くことで、子ども自身の心や体の健康等に影響が出てしまうことを正しく理解していただけるよう、子ども及び保護者、関係機関等へ周知啓発していきます。

その他の質問

☆ジェネリック医薬品について
☆子育て支援について
☆帯状疱疹について

※ヤングケアラーとは・・・

一般に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと



鶴見 義明 議員
(日本共産党議員団)



福祉行政について

Q 生活保護の扶養照会について、生活保護法では親族による扶養が生活保護に優先されるとい規定がある。しかし、令和3年、厚生労働省が扶養照会の運用の改善をし、申請者が照会を拒んでいるときは、その意思を尊重するよう自治体に連絡した。このことから扶養照会は決して保護申請の絶対的要件ではないということになるが、この認識についてどのように考えているか。

A 子ども福祉部長

扶養照会については、保護に優先するということで位置づけをされていますので、もし扶養照会を拒んでいるような場合については、まずはその理由を伺い、また扶養義務者について個別に事情を検討した上で扶養照会を行うかどうかを判断しているところです。

その他の質問

☆所有者不明土地について

